

資本主義と食文化

青山学院大学名誉教授

三和 良一

1. 資本主義とは？

1.1 歴史上、最も商品経済を発達させた資本主義は、過剰な商品経済化を進める。

「昔は、イエでしたのだけれど」...家庭内の仕事が、商品経済に巻き込まれるケース

食事・洗濯・掃除・縫い物・障子貼り

婚礼・出産・育児・教育・技能伝承

介護・看取り・葬祭

「昔は、イエで作ったのだけれど」...家庭の内に、商品が侵入するケース

食品...インスタント系・冷凍系・レトルト系、調味料

衣料品...おむつ・産着、ゆかた・肌着

家庭用品...雑巾・ハタキ

1.2 資本主義は、過剰な効率化を進める。

「時はカネなり」... 時間短縮にこそ「価値」がある！

「Fast Food」「コンビニ弁当」は速くて安い ...おふくろの味はどこへ？

「回転寿司」は速くて美味しい ...職人の技はどうなるの？

「個食」は速くて簡単 ...食卓を囲む家庭団楽は？

1.3 資本主義は、過剰な富裕化を進める。

「欲しいものはどんどん買って、要らないモノはどんどん捨てる」

...大量生産・大量消費・大量廃棄

資源の枯渇・環境の破壊

2. 食文化とは？

2.1 歴史が生み出した、「^{アイデンティティ}変わらないもの」。

「中国料理、韓国料理、日本料理が一つの食文化に収斂することはないであろう」(川勝平太)

	畜肉	鳥肉	魚介類	海草	漬け物	香辛料	調味料	発酵食品	うま味	食温	匙
中国料理	東坡肉	北京ダック	丸揚げ	稀	白菜漬	ニンニク・香 草	塩・穀物醬 酢	臭豆腐	油脂	暖食	
韓国料理	カルビ	参鶏湯	干物	多	キムチ	唐辛子・ニン ニク	魚醬・味噌	?	辛み・乳酸	冷食	
日本料理	スキヤキ	やきとり	刺身・て んぷら	中	たくあん ぬかみそ	わさび・山椒	醤油・砂糖 味噌	フナ鮓	アミノ酸	冷食	×

2.2 食の文化交流

「日本は、食の国際化が極めて進んでいる。」

日本で流行っている外国食...ハンバーガー・フライドチキン・アイスクリーム・ピザ・
カレー・カルピ・キムチほかあらゆるエスニック料理

流行っていない外国食...四川火鍋・韓定食

中国で流行っている外国食...ハンバーガー・フライドチキン・アイスクリーム・寿司
流行っていない外国食...ピザ・カレー・とんかつ・フランス料理

韓国で流行っている外国食...ハンバーガー・フライドチキン・アイスクリーム・寿司・
とんかつ・カレー

流行っていない外国食...ピザ・フランス料理

2.3 よく似た食文化

「おでんと豆腐は東アジア食品」

「アジアン・ヌードルの微妙な差異」...拉麺・冷麺・素麺

3. グローバリズムは食文化を変えるか？

3.1 輸入食材の産地は移る (1ドル = 1990年 144.8円、2000年 107.8円)

エビ 1990年 28.3億ドル インドネシア(17.5%) 中国(14.3%) タイ(14%)

2000年 30.3億ドル インド(19.6%) インドネシア(19.2%) ベトナム(12.7%)

ウナギ(加工品) 1990年 3.7億ドル 台湾(88%) 中国(12%)

2000年 7.9億ドル 中国(85.9%) 台湾(14%) ベトナム(0.1%)

野菜 1990年 16.7億ドル 中国(21.9%) アメリカ(21%) 台湾(17.6%)

2000年 32.7億ドル 中国(46.2%) アメリカ(22%) 韓国(7.3%)

3.2 ファスト・フード VS スロー・フード

アメリカ：ピュッフェの流行・ドーナツの伸び 肥満

手作り料理はBBQ

日本：外食率の上昇

日本の世帯の外食率

(家計調査年報)

年	消費支出 (円)	食料 (%)	食料中の外食 (%)	外食中の構成比(%)					
				麺類	すし	和・中・洋食	その他主食的外食	喫茶代	飲酒代
1980	2,766,812	31.3	12.2	10.7	17.3	19.6	36.6	5.7	10.8
1985	3,277,373	29.2	13.3	9.7	14.1	19.3	38.6	6.6	12.3
1990	3,734,084	27.6	14.9	7.8	12.8	20.0	44.3	4.0	11.1
1995	3,948,741	25.9	15.9	6.2	11.7	19.9	46.8	3.5	12.0
2000	3,805,600	25.6	16.6	7.5	10.5	27.5	39.6	3.4	11.5

デパチカ、ホテイチの流行

3.3 健康食品・安全食品

ビタミン薬

アミノ酸

有機栽培・無農薬栽培

遺伝子組み換え食品

4. むすび - 食の危機 -

4.1 食料自給率の低下

日本の食料自給率 (農林水産省「平成12年食料需給表」)

年度	穀物自給率	主食用穀物自給率	供給熱量食料自給率	肉類自給率	魚介類(食用)自給率	飼料自給率
	%	%	%	%	%	%
1965	62	80	73	90	110	55
75	40	69	54	77	100	34
85	31	69	53	81	86	27
95	30	64	43	57	59	26
2000	28	60	40	52	53	26

4.2 食料生産とエネルギーの関係

穀物生産とエネルギー

年	日本の米生産エネルギー収支						世界の穀物生産 エネルギー使用量
	投入	(労働力)	(機械)	(肥料)	産出	収支	
1950年	9,150	1,120	1,370	2,400	11,600	2,450	0.44
1970・74年	47,070	440	15,950	9,820	17,700	-29,370	0.89
1985年	?	?	?	?	?	?	1.14

注 日本は、1950・74年。1ha当たりで、単位は1000キロカロリー。宇田川推計(『概説日本経済史』第2版、232頁)。

世界は、1950・70・85年。穀物1トン当たり石油換算エネルギー(単位:パレル)。『データ世界経済』56頁。

4.3 世界的食料危機はいつ来るのか?

地球人口の推移

	推定人口	期間増加率
紀元前1000年	400万人	
5000年	500万人	0.0045%
西暦1年	1.7億人	0.07%
1000年	2.65億人	0.045%

1500年	4.25億人	0.1%
1700年	6.1億人	0.18%
1800年	9億人	0.39%
1850年	12億人	0.577%
1950年	12億人	0.737%
2000年	61億人	1.8%
2050年	93億人	0.85%

出典 馬場宏二『新資本主義論』27頁、McEvedy,Jones 推計。ほか。

地球の人口維持能力

耕地面積 × 単位面積当たり穀物生産量 / 1人当たり穀物消費量 = 生存可能人口

耕地面積は現在7億haで今後の増加は困難

穀物生産量は平均約3トン/ha、最高のヨーロッパで6トン/ha

穀物消費量（食肉用飼料も含む）はインドで1人年間200kg、アメリカで900kg

現在の穀物生産量の場合 (7億ha × 3トン = 21億トン)		最高穀物生産量の場合 (7億ha × 6トン = 42億トン)	
1人年間消費量 生存可能人口		1人年間消費量 生存可能人口	
200kg	105億人	200kg	210億人
300kg	70	300kg	140
400kg	53	400kg	105
500kg	42	500kg	84
600kg	35	600kg	70
700kg	30	700kg	60
800kg	26	800kg	53
900kg	23	900kg	47

穀物需給表

(2001年：単位100万トン。FAO資料)

	供給量		消費量						
	生産量	%	飼料	%	加工用	%	食料	%	他とも合計
小麦	589	99.5	102	17.2	5	0.8	419	70.8	592
大麦	143	105.9	90	66.7	23	17.0	7	5.2	135
米	389	100.8	7	1.8	3	0.8	345	89.4	386
とうもろこし	615	97.6	407	64.6	59	9.4	113	17.9	630
他とも合計	1906	100.1	685	36.0	94	4.9	946	49.7	1904

注 ビール用麦は除く。

以上